

2017-2018

Weekly Bulletin of KAKOGAWA CHUO R.C.

●R.I.会長/イアン・H.S.ライズリー ●地区ガバナー/瀧川 好庸
●会長/大西 淳滋郎 ●幹事/井上 孝明 ●クラブ会報委員長/宮本 鹿司夫
●事務局/〒675-0064 加古川市加古川町溝之口 800 番地 加古川商工会議所会 5F
TEL 079-421-5152 FAX 079-421-5559 E-mail info@kakogawa-chuo-rotary.club



ロータリー:
変化をもたらす

第 2128 号

平成30年 5月 24日 (木) No 40

卓話: 大西 和樹会員



★ 会長挨拶



★ 東播第2グループ
ガバナー補佐 庄司 武氏



★ 大西 和樹会員



★ PHD 協会事務局長坂西卓郎氏 米山奨学生担当 濱 宏子氏
米山奨学生 サビナ ビスンケ ラムテルさん 学友 リンダ エルニタさん



会長の時間

会長 大西 淳滋郎

皆さん こんにちは。

庄司武ガバナー補佐・随行者の三枝丈次様、ようこそ加古川中央ロータリークラブへ。1年間、私ども加古川中央ロータリークラブに多大なる御尽力を頂きまして有り難うございます。まだ、あと1ヶ月ございます。宜しくお願い致します。

また、米山奨学生サビナ ビスンケ ラムテルさん国籍:ネパール、元米山奨学生リンダ エルニタさん国籍:インドネシア、そして、PHD 協会より事務局長 坂西卓郎氏、米山奨学生担当 濱宏子氏にもお越し頂いております。ようこそ加古川中央ロータリークラブへ。本年度に引き続きまして、次年度もサビナさんを支援してまいります。西村カウンセラーだけではなく、会員の皆様もどうぞ宜しくお願い致します。

今回のアメリカンフットボールの悲しい出来事の件でお話し致します。昔話になりますが、関西学院大学ファイターズ・京都大学ギャングスターズに友人が所属しており、学生時代はアメリカンフットボールが大好きなスポーツのひとつでした。当時の関西学院大学は関西リーグ34連覇中で、関西では向かうところ敵無しでした。82年、その関西学院大学を京都大学が破ったのです。その京都大学と甲子園ボールで戦ったのが日本大学フェニックスでした。当時の日本大学はショットガンフォーメーション(散弾銃)を武器としており、甲子園ボール4連覇中でした。甲子園ボールでは京都大学は木っ端微塵に砕け散りました。

その当時を覚えている私にとって今回の件は悲しい出来事です。早く一件が落着し、全てのチームが正々堂々とルールに則り戦って頂きたいと思います。

今朝、関西学院大学アメリカンフットボール部OBの友人からメールが来ました。関西学院大学では、いつも試合の前に【堂々と勝ち、堂々と負けよ】という詩が朗読されるそうです。その詩をご紹介します。

『いかなる闘いにもたじろぐな。偶然の利益は騎士的に潔く捨てよ。威張らず、誇りを持って勝て。言い訳せず、品位を持って負けよ。堂々と勝ち、堂々と負けよ。勝利より大切なのはこの態度なのだ。汝を打ち破りし者に最初の感激を、汝が打ち破りし者に感動を与えよ。堂々と勝ち、堂々と負けよ。汝の精神を汝の体を常に清潔に保て。そして汝自身の、汝のクラブの、汝の国の名誉を汚すことなかれ』．．． 会長の時間を終わります。

ガバナー補佐退任にあたって

東播第2グループ

ガバナー補佐 庄司武

早いもので、もう一年の月日が流れてしまいました。補佐を引き受けるにあたり、不安でいっぱいでしたが、グループ内の会長、幹事さんはじめ会員皆様のご協力で職責を何とか果たすことができました。グループ内事業として、ポリオチャリティゴルフ大会、IM、5クラブ会長幹事会開催、クラブ訪問各4回など皆様の絶大なるご協力をいただき、それぞれを遂行できたことに心から感謝いたします。クラブ訪問では、好意と友情をもって温かく迎えていただき、それぞれのクラブの特色ある運営を学ばせていただきました。会員増強が思うように進まないなど、苦悩を抱えながらも、地域のニーズに沿った奉仕活動など、特色あるクラブ運営に尽力されていることがうかがえました。2016年10月に第1回ガバナー補佐会議が召集され、最初の研修会で中村地区研修リーダーより「ロータリーの本質とは」何か、「真のロータリアンとは」どういう人かとの問かけがあり、それを探し求める1年半となりました。R.I.は「ロータリーの真の姿」とは何かについて討論を重ね、それはE.S.S.で表されると発表しています。即ち
E: ENJOY— 職業の異なる会員が信頼感をもって心から楽しみ、親睦を深め友情をあたため、喜びを通じ合って成長して行く。
S: STUDY— ロータリーから人生哲学、職業倫理を学び、多くの会員の人生観から学び自己研鑽に励んで人間性をたかめる。
S: SERVICE— 思いやりの心で人のお役に立つ行動をとるというロータリーの奉仕をごく自然に自分の生活の中に生かすことで、世の為、人の為に尽くす。
これがロータリーの真の姿なのです。

ロータリーの素晴らしさはロータリーの例会にあると考えます。20世紀の奇蹟といわれたロータリーを引き続いて活動するには、ロータリーの最も重要なユニットである各クラブの充実以外にはないのではないのでしょうか。ロータリークラブの充実は、いかに例会を魅力的にするかこれに尽きると思います。会員一人一人がロータリーこの素晴らしきものを知り、実感することです。クラブの例会を通じて親睦を出発点とし、奉仕の心を養い、一人一人がそれを各方面に実践すること、それが本質であり、ロータリアンの真の姿と考えます。最後に、ご指導いただきました滝川ガバナー、グループ内の会長、幹事はじめ会員の皆様に心から感謝申し上げます。